

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和4年度第6回理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年7月28日（木） 午後5時00分～6時00分

2. 開催場所 日本歯科専門医機構事務局（ハイブリッド形式）

3. 出席者（敬称略）

1)理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 15名（定足数8名）

出席理事数 12名

出席者 会場参加 今井 裕、砂田勝久、木本茂成

WEB参加 柳川忠廣、鳥山佳則、村上伸也、松村英雄、古郷幹彦
浅海淳一、小方頼昌、丹羽 均、宮脇正和

欠席者 伊藤孝訓、丸川珠代、豊田郁子

陪席者 会場参加 丸山高人

2)監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者 会場参加 横山敏秀

WEB参加 永井裕之

議長は、定款31条第1項により理事長が務める旨報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4. 開会の辞

柳川副理事長が開会を宣し開会した。

5. 挨拶

今井理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

6. 議事録について

砂田専務理事より、令和4年度第5回理事会議事録（案）について説明があり、基本的に了解が

得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

7. 報告事項

(1) 庶務報告

砂田専務理事より、令和4年6月30日以降に開催した会議等について報告があった。

(2) 会計報告

木本財務理事より、令和4年6月度の月次決算について報告があった。

(3) 共通研修申請状況

丸山共通研修評価認定小委員会委員長より、7月22日現在24件の申請があり、全件が認定されている旨の報告があった。

また、申請状況一覧表の各項目の記載が分かりづらいという意見を踏まえ、当該小委員会で見直しを検討する予定であることが報告された。

(4) 理事会の定例化に関するアンケート調査

砂田専務理事より、各理事からいただいた理事会の定例化に関するアンケートの集計結果について、次回の理事会で報告する旨が伝えられた。

(5) 委員会委員の就任承諾状況

砂田専務理事より、新体制となった各委員会委員の先生方全てから就任の承諾が得られたことが報告された。

(6) 決済専用無利息型預金への変更

木本財務理事より、現在の機構名義の普通預金について、預金が全額保証される決済用預金の口座に変更したことを報告された。

(7) 情報の管理について

砂田専務理事より、現在の機構ホームページが見づらいとの意見を踏まえ、新しいデザインを検討中であることが報告された。

(8) 認定研修施設・専門医の公表

砂田専務理事より、機構ホームページへの認定研修施設及び専門医の掲載準備が整ったこと、また、掲載前に対象5学会に対し記載内容等の誤りがないか確認依頼をする予定であることが報告された。

(9) 認定証の発行

砂田専務理事より、認定証の記載事項を一部変更したことについて報告された。

また、認定証に記載されている機構が承認した登録年月日について、併記されている有効期間と混乱するので必要ないのではないかといった意見を踏まえ、各理事から意見をいただいた。

不要としては、「特に重要でない」、「問題となるのは有効期間」といった意見の一方で、

機構での登録年月日があれば経験年数も分かり専門医としての参考になるので必要ではないかとの意見も出された。

このことから、今井理事長より、各理事からの意見を総合的に検討した上で、別途、報告する旨の回答がされた。

8. 審議事項

第1号議案 2022年度補正予算について

今井理事長より、機構の周知活動に対する漫画の製作費用に掛かる補正予算について審議の依頼があった。これに対し、木本財務理事より広報に関わる事業や事前調査費用等の項目を追加したマイナス収支となる（案1）と当初から赤字予算を組むのは好ましくないといった観点から黒字収支となる（案2）を提示し、各理事から意見をいただいた。

併せて、前年度繰越金収入額の変更及び予備費の重複計上の修正について説明がされた。各理事からの意見としては、「実際には赤字ではないので、当初から赤字ではない予算を作るべき」といった意見や、「広報に関わる事業は単年度単発であり、実際に年度末には黒字になるので、決算時に説明ができれば現時点では赤字でも問題ないのではないか」といった意見が出された。

各委員からの意見を踏まえ、今井理事長よりマイナス収支の補正予算（案1）とすることとし、審議の上承認された。

第2号議案 クラウドの導入について

今井理事長より、クラウドの導入について審議いただく予定だったところ、導入業者（大塚商会）からの経費面での説明不足による導入経費の増額及び書類面での記載不備による信頼性の低下があり、改めて業者の選定を行いたいため、当該議案は取下げる旨の説明がされた。

おって、新たな業者が選定され次第、改めて理事会に提案させていただくこととなった。

9. 協議事項

(1) 各委員会の開催について

砂田専務理事より、各委員会の協議内容を示し、各委員会あてに理事長名で開催に向けての通知を発出する予定である旨の連絡がされ、理事からは特に意見はなかった。

(2) 会議録の制作について

砂田専務理事より、理事会等の議事録作成に係る外部委託について、数社の業者の中で検討した結果、費用の面や歯科の会議に参加しており歯科の用語にも対応している神戸総合速記（株）に依頼したい旨の報告がされ、理事からは特に意見はなかった。

(3) 学会等主催共通研修における受講者の扱い

砂田専務理事より、学会主催の共通研修に他学会の会員が受講するケースがあり、管理していく上での対応策について、何か良い方策等がないか各理事に意見を求めたが特になかった。今後、執行部で対応策の検討を行い、改めて理事会で報告することとした。

(4) 広報活動について

今井理事長より、広報に係る事業として漫画の制作にあたり、ワーキンググループを作ってこまめに検討していきたい旨の発言があり、理事からは特に意見はなかった。

この議事録が正確であることを証するため、定款第 33 条に基づき代表理事及び監事は記名押印する。

令和 年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 印

監事 横山 敏秀 印

監事 永井 裕之 印